

社団法人日本心理学会 平成 19 年度 4 月常務理事会 議事録

日 時 平成 19 年 4 月 21 日（土）10 時 30 分—14 時

会 場 弘済会館 1F ‘葵’

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，
高木 修各常務理事

（事務局長：久野洋子，事務局員：坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 織田正美（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（3 月 10 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

久野事務局長より，3 月 1 日—3 月 31 日の会員異動状況について，新入会員 14 名，希望退会者 52 名，逝去者 2 名があり，3 月 31 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7150 名であるとの報告があった

2. 委員会報告

(1) 心理学ワールド編集委員会報告

織田理事長より，“心理学ワールド”第 39 号の企画案につき報告された。

(2) 将来構想検討委員会

小川総務担当常務理事より，4 月 15 日に開催された将来構想検討委員会につき報告があり，将来構想検討委員会委員長に田島元信氏，4 つの小委員会の委員長に安藤清志氏，丹野義彦氏，大淵憲一氏，渡辺茂氏が選出された。

3. 理事長報告

織田理事長より下記のことが報告された。

(1) 心理職の国資格化について

心理職の国資格化について，現在の状況が報告された。

(2) “心理学界の男女差別を撤廃する会”について

“心理学界の男女差別を撤廃する会”より，2007 年 3 月 15 日付で文書が送付されて

きたことが報告された。

4. その他

(1)分室・事務局 PC 入れ換えについて

久野事務局長より分室の準備状況について説明があり、PC の導入に伴ってのプログラムの構築など業者との契約が進んでいることが報告された。

(2)“心理学研究”掲載論文の行脱落について

高木編集担当常務理事（委員会委員長）より、“心理学研究”第 77 巻 6 号掲載論文の 1 行脱落への対応について報告があった。業務委託業者に原因究明を指示するとともに、始末書の提出を求めた。その上で、始末書に記載された原因をも記し、編集委員長名で著者に謝罪文を送ったことが報告された。なお、行脱落の事実を、第 78 巻第 1 号編集公告の正誤表に載せることとなった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

(1)正会員

新規申請のあった 35 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 23 名の入会を一括承認し、残る 11 件について資料に基づき個別審査の結果、2(1)に該当すると判断した 4 名、2(3)に該当すると判断した 1 名、2(4)に該当すると判断した 5 名を入会可とし、1 名を否とした。また以前の常務理事会にて保留とされた 1 件について再審査を行い、否とした。

(2)賛助会員

賛助会員申請のあった 1 件について審査を行い、入会可とした。

2. 日本心理学諸学会連合への拠出金（特別助成金）の件

織田理事長より、日本心理学諸学会連合に対する心理学検定特別協力金の支払いについて説明があり、弁済事項等について顧問弁護士及び顧問公認会計士の助言を基に心理学諸学会連合となお協議を重ねていくこととなった。

3. 認定心理士資格認定事業移譲の件

織田理事長より、3 月 24 日に開催された日本心理学諸学会連合との認定心理士資格認定事業移譲に関わる第 6 回協議会について説明があった。また木村常務理事より、次回協議会に提出する文書案が示され、審議がなされた。

4. 第 73 回大会（2009 年度）主催校の件

小川総務担当常務理事より、第73回大会(2009年度)の主催校について説明があり、第73回大会について立命館大学から開催希望の申し込みがある旨の報告があった。

5. 公開講演会の件

小川総務担当常務理事より、2007年度の日本心理学会公開講演会について説明があり、2007年7月29日に開催予定の公開講演会“‘美’への挑戦——心理学から——”について講演者の推薦依頼がなされた。

6. 優秀論文賞選考委員会委員長承認の件

高木編集担当常務理事より、優秀論文賞選考委員会委員長の選任について説明があり、同委員会委員長を仲 真紀子氏に依頼することとした。

7. 認定心理士諸規程改正の件

木村認定担当常務理事(委員会委員長)より、前回理事会にて一部修正となった認定心理士諸規程について改正案が提示され、これを承認した。

8. 認定委員会委員任期の件

木村認定担当常務理事(委員会委員長)より、認定委員会委員の任期について説明があり、委員の任期を規程の通りとすることを確認した上で、詳細は木村常務理事に一任することとした。

9. 協賛依頼の件

名古屋大学 IB 電子情報館より願出のあった“エコトピア科学に関する国際会議 2007 (ISETS07)”(組織委員会委員長・松井恒雄(名古屋大学エコトピア科学研究所所長))の協賛依頼について審議し、これを承認した。

10. 転載依頼の件

文化書房博文社より願出のあった“あたりまえの心理学 第23講 日本歴史昭和”に、“日本心理学会75年史”掲載の口絵の転載依頼について審議し、これを承認した。

社団法人日本心理学会平成 19 年度 5 月常務理事会議事録

日 時 平成 19 年 5 月 6 日（日）11 時—16 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，
高木 修各常務理事

（事務局長 久野洋子，事務局員 仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 織田正美（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（4 月 21 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

久野事務局長より，4 月 1 日—4 月 30 日の会員異動状況について，新入会員 73 名，希望退会者 22 名，逝去者 1 名があり，4 月 30 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7200 名であるとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 認定委員会報告

木村認定担当常務理事（委員会委員長）より，4 月 28 日に開催された認定委員会につき報告がなされた。

なお，認定委員会委員の任期について，次回常務理事会にて再提案されることとなった。

また，認定委員会業務に対して支払う謝礼について，次回常務理事会にて審議することとなった。

3. 理事長報告

織田理事長より下記のことが報告された。

(1) 日本心理学諸学会連合について

6月10日に日本心理学諸学会連合（以下、日心連）の理事会が開催されることが報告された。理事会では、認定心理士資格認定事業移譲に関わる協議会についての報告があり、移譲問題について審議される可能性があるとの説明がなされた。

(2) 医療心理師国家資格制度推進協議会について

日心連理事長より、日心連理事会において、医療心理師国家資格制度推進協議会の代表者として国資格問題の現状報告を行うよう要請を受けたことが報告された。

4. その他

(1) 国際賞選考について

小嶋国際担当常務理事より、5月19日（土）に国際賞選考委員会を開催し、国際賞の選考を行うことが報告された。また、受賞者の最終決定は6月16日（土）の委員会にて行われる予定であるとの報告があった。

(2) 職員人事について

久野事務局長より、事務局の常勤嘱託職員募集の情報をホームページに掲載したことが報告された。また新聞等に求人広告を掲載することとした。

(3) “認定心理士資格申請の手引き” 発行予定日等について

木村認定担当常務理事（委員会委員長）より、新規程に基づく“認定心理士資格申請の手引き”の発行について説明があり、発行時期については既定方針通り進める予定であることが報告された。

(4) 国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助について

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助についての情報をホームページに掲載したことが報告された。

(5) 日本心理学会第70回大会発表論文集のウェブ公開について

小嶋国際担当常務理事より、日本心理学会第70回大会発表論文集のウェブ公開についての告知をホームページに掲載したことが報告された。なお、同様の情報は“心理学研究”等にも掲載される予定であるとの報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった1件について資料に基づき個別審査を行い、2(4)に該当すると判断し入会可とした。

2. 認定心理士資格認定事業移譲の件

木村認定担当常務理事より、認定心理士資格認定事業移譲に関わる次回（第8回）協

議会に提出する文書案が示された。審議の結果、一部修正の上、これを承認した。なお、第8回協議会は5月13日(日)に開催される。

3. 第73回大会(2009年度)主催校の件

小川総務担当常務理事より、2009年度の日本心理学会第73回大会開催校を立命館大学に依頼し公文書による内諾が得られたことが報告され、同大学にて第73回大会を開催することを承認した。なお、大会委員長を吉田甫氏、事務局長を藤健一氏が務めることが予定されているとの報告があった。

4. 機関誌編集の電子化に伴う業者選定の件

小川総務担当常務理事より、機関誌編集の電子化に伴う業務委託業者の選定について、編集委員会からは3社の中のA社を推薦する旨の報告がすでにあつたが、今般総務・財務委員会からB社を推薦順位1位、A社を2位とする報告があつたことについて説明がなされた。審議の結果、業務委託の1社集中はセキュリティーの関係で望ましくないとの理由で、機関誌編集の電子化業務をB社に委託することとした。なお、電子化システムの構築等に当たっては、編集委員会の関係者と十分協力して進めることとなった。

5. 優秀論文賞選考委員会委員長承認の件

高木編集担当常務理事より、優秀論文賞選考委員会委員長として仲真紀子氏の推薦があり、審議の結果依頼することとなった。なお、委員会日程の関係で、すでに内諾を得ていることが報告された。

6. 優秀論文賞選考委員会委員の件

高木編集担当常務理事より、理事・代議員から選出されている優秀論文賞選考委員会委員の野口京子氏が委員を辞退したいと申し出ていることが報告された。後任の委員について、特に専門領域の観点から人選し、一谷幸男氏に依頼することとした。

7. 理事会・総会議題の件

織田理事長より、6月23日(土)に開催予定の理事会・総会について説明があり、議題について審議した。

8. 協賛・後援依頼の件

(1) カラーフォーラム JAPAN 事務局より願出のあつた

“カラーフォーラム JAPAN2007”への協賛依頼について審議し、これを承認した。

(2) 日本リハビリテーション心理研究会より願出のあつた社団法人日本心理学会の後援名義使用依頼について審議し、これを承認した。

9. 転載依頼の件

(1) 日比野桂氏より願出のあつた海外論文集への下記論文(英訳)の転載依頼について

て審議し、これを承認した。

日比野桂・湯川進太郎・小玉正博・吉田富二雄 (2005). 中学生における怒り表出行動とその抑制要因——自己愛と規範の観点から—— 心理学研究, **76**, 417-425.

社団法人日本心理学会 平成 19 年度 6 月第 1 回常務理事会議事録

日 時 平成 19 年 6 月 9 日 (土) 11 時—18 時
会 場 ホテル機山館会議室
出席者 織田正美理事長, 木村 裕, 小嶋祥三, 小川俊樹, 岡市廣成,
高木 修各常務理事
齊藤栄太郎公認会計士
(事務局長 久野洋子, 事務局員 仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)
議 長 織田正美 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (5 月 6 日開催) の議事録を, 一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

久野事務局長より, 5 月 1 日—5 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員 30 名, 希望退会者 13 名があり, 5 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7217 名であるとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 機関誌等編集委員会報告

高木編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 5 月 12 日に開催された編集委員会について報告がなされた。

(2) 認定委員会報告

木村認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 5 月 26 日に開催された認定委員会につき報告がなされた。

(3) 優秀論文賞選考委員会報告

高木編集担当常務理事より, 5 月 12 日に開催された優秀論文賞選考委員会について報告がなされた。

(4) 国際委員会報告

小嶋国際担当常務理事より, 国際学会, 国際会議参加者への旅費支給, 補助等に関する内規に基づき補助の申請が 2 件あったことが報告され, 次回常務理事会にて審議することとした。

(5) 国際賞選考委員会報告

小嶋国際担当常務理事より, 5 月 19 日に開催された国際賞選考委員会について報告がなされた。

3. 理事長報告

織田理事長より下記のことが報告された。

(1) 国資格問題について

医療心理師国家資格制度推進協議会総会が 6 月 30 日 (土) に開催され, 心理職の国資格化について審議されることが報告された。

また, 医療心理師国家資格制度推進協議会と日本精神科病院協会との間の会談が, 6 月 21 日行われたことが報告された。

(2) 日本心理学諸学会連合について

日本心理学諸学会連合（以下、日心連）の資格制度検討委員会において、日心連による包括的資格制度案である“心理師”について検討が進められていることが報告された。また、心理学検定の“運営資金の調達と返済に関する細則”について誓約書を求められたことが報告された。日心連理事会にて細則が承認された場合には、既定方針通り、誓約書に署名することを了承した。

(3) 日本認定心理士会について

日本認定心理士会の理事会が7月7日(土)に開催されることが報告された。なお、認定心理士会事務局が日本心理学会にあること、また認定心理士会事務局長を日本心理学会の事務局長が兼務していることについて、今後検討していく必要があるとの意見があった。

4. その他

(1) 分室・事務局 PC 導入の件

久野事務局長より、分室の整備と事務局 PC の導入状況について報告された。PC の導入については、作業実施の明確なスケジュールリングを作成する必要があることが指摘された。

(2) “認定心理士資格申請の手引き”について

木村認定担当常務理事（委員会委員長）より、“認定心理士資格申請の手引き”の改訂状況について報告された。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった46件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者40名の入会を一括承認し、残る6件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した1名、2(2)に該当すると判断した1名、2(3)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した3名を入会可とした。

2. 認定心理士資格認定事業移譲の件

木村認定担当常務理事より、日本心理学諸学会連合への認定心理士資格認定事業の移譲に関わる資料の説明があり、小川総務担当常務理事より、移譲に関わる定款上の問題を主務官庁である文部科学省担当部局を訪問し、協議した旨の報告があった。審議の結果、日本心理学諸学会連合との協議結果を理事会・総会に諮ることとし、理事会・総会の議案書について審議がなされた。

3. 理事会・総会の議案・報告事項・その他の件

織田理事長より、配布資料にもとづき説明があり、理事会・総会の議案および報告事項について審議した。

4. 平成18年度収支決算報告書の件

齊藤栄太郎公認会計士より、平成18年度収支決算の報告があり、これを承認した。

5. 名誉会員推戴の件

久野事務局長より、配布資料に基づき2名の名誉会員候補者について説明がなされた。審議の結果、名誉会員推薦規程に基づき2名を名誉会員として推薦することとした。

6. 終身会員承認の件

久野事務局長より、配布資料に基づき9名の名誉会員候補者について説明がなされた。審議の結果、定款第5条(5)に基づき9名を終身会員候補者として承認することとした。

7. “Japanese Psychological Research” の価格改訂の件について

久野事務局長より、“Japanese Psychological Research” 販売業者より、同誌の販売価格を 2008 年度 (Vol. 50) より改定したい旨の連絡があったことが報告され、審議の結果、これを了承した。

8. 認定委員会委員の件

木村認定担当常務理事(委員会委員長)より、認定委員会の任期について提案があり、これを承認した。

9. 倫理委員会委員の件

岡市倫理担当常務理事(委員会委員長)より、倫理委員会委員の委嘱について説明がなされた。審議の結果、新たに 3 名を委員として依頼することとした。また、委員の任期について、規程に基づき確認をした。

10. 心理学ワールド編集委員会委員の件

織田理事長より、心理学ワールド編集委員会委員の任期について説明があり、委嘱状に従った任期とすることとした。

11. 第 71 回大会学会主催シンポジウムの件

小川総務担当常務理事より、第 71 回大会における学会主催シンポジウムについて説明があり、審議がなされた。

12. 国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者推薦の件

小川総務担当常務理事より、独立行政法人大学評価・学位授与機構より国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者の推薦依頼があったことが説明された。審議の結果、常務理事会からは 3 名を推薦することとした。

13. 嘱託職員採用の件

小川総務担当常務理事より、日本心理学会事務局の常勤嘱託職員の募集状況について説明がなされた。採用に関しては、織田理事長・小川常務理事に一任することとした。

14. 転載依頼の件

(1) 角川学芸出版より願出のあった“子どもの育ちを支える 教育心理学入門”(編者 武蔵野大学、編著 谷口明子ほか)への“第 45 回大会発表論文集”掲載の下記論文からの図版の転載について審議し、これを承認した。

津村俊充・大橋正夫・鹿内啓子・林文俊・吉田俊和・平林進・坂西友秀・小川浩(1981).

中学生の対人関係に関する追跡的研究(4) 日本心理学会第 45 回大会発表論文集, 771.

(2) 論説資料保存会より願出のあった“日本語学論説資料”第 42 号への“心理学研究”掲載の下記 4 論文の転載について審議し、これを承認した。

西崎友規子・苧阪満里子(2004). 文章理解とワーキングメモリの個人差——保持と検索の視点から—— 心理学研究, 75, 220-228.

羽瀧由子(2005). 第 2 言語学習者の単語処理におよぼす語彙と概念の連合強度の影響 心理学研究, 76, 1-9.

小河妙子・齋藤洋典・柳瀬吉伸(2005). 二字熟語の語形成における JIS 第 1 水準に属する漢字 2965 字の結合特性 心理学研究, 76, 269-275.

柏木繁男・辻平治郎・藤島寛・山田尚子(2005). 性格特性の語彙的研究 LEX400 のビッグファイブの評価 心理学研究, 76, 368-374.

(3)シーエムシー出版より願出のあった“眠りの科学とその応用(仮)”(監修 本多和樹, 執筆者 鈴木博之)への“心理学研究”掲載の下記論文からの質問文の転載について審議し,これを承認した。

石原金由・宮下彰夫・犬上牧・福田一彦・山崎勝男・宮田洋(1986). 日本語版朝型—夜型(Morningness-Eveningness)質問紙による調査結果 心理学研究, 57, 87-90.

社団法人日本心理学会平成19年度6月第2回常務理事会 議事録

日 時 平成19年6月23日（土）10時30分—13時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，

高木 修各常務理事

（事務局長 久野洋子，事務局員 仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 織田正美（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（6月6日開催）の議事録を，一部修正の上，承認した。

II. 報告事項

1. 委員会報告

(1) 国際賞選考委員会報告

小嶋国際賞選考担当常務理事（委員会座長）より，6月16日に開催された国際賞選考委員会について報告がなされた。

2. 理事長報告

織田理事長より下記のことが報告された。

(1) 日本心理学諸学会連合について

6月10日（日）に日本心理学諸学会連合（以下，日心連）の理事会が開催され，心理学検定の運営資金の調達と返済に関する細則その他の関連規定が承認されたことが報告された。このことに伴い，日心連への“特別協力金”の予算を執行することが確認された。また，認定心理士資格認定事業の移譲に関わる日本心理学会と日心連の合意事項について承認されたことが報告された。

3. その他

(1) 分室・事務局 PC 導入の件

小川総務担当常務理事より，事務局 PC の導入に関わる作業実施スケジュールについて報告がなされた。

(2) 学会会員名簿について

小川総務担当常務理事より、日本心理学会の会員名簿に関して会員より問合せがあったことが報告された。名簿の取り扱いについては、日本心理学会の代議員選挙のあり方とともに、今後将来構想検討委員会で検討していく必要があるとの意見が出された。

(3) 次期常務理事会への申し送り事項について

小川総務担当常務理事より、役員交代による業務の引継ぎのため、次期常務理事会への申し送り事項に関する文書を作成することが報告された。

(4) 嘱託職員採用について

小川総務担当常務理事より、常勤嘱託職員の応募状況について報告がなされた。

Ⅲ. 審議事項

1. 理事会・総会の役割分担および議案，資料の確認の件

織田理事長より、配布資料にもとづき説明があり、理事会・総会の役割分担について審議した。

2. 国際学会，国際会議参加者への旅費支給，補助の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会，国際会議参加者への旅費支給，補助等に関する内規に基づく申請が1件あったことが報告され，審議の結果これを承認した。

3. 第71回大会日本心理学会企画シンポジウムおよび認定心理士プログラムの件

小川総務担当常務理事より、第71回大会における日本心理学会企画シンポジウムおよび認定心理士プログラムについて説明がなされた。審議の結果，前者は2件，後者は講演1件を実施することとした。またポスターを製作し，会員・認定心理士に配布することとした。

4. 将来構想検討委員会委員の件

小川総務担当常務理事より、将来構想検討委員会委員の任期について説明があり、今総会で同委員会の常置化が承認された場合には、原則として現職の委員に引き続き委員を委嘱することとした。なお委員の任期は、規程に基づき、平成19年7月1日から平成22年6月30日までとされた。

5. 協賛依頼の件

(1) 日本知能情報ファジィ学会(会長・古橋 武)から願出のあった“第23回ファジィシステムシンポジウム”(実行委員長・吉川大弘)への協賛依頼について審議し、これを承認した。

社団法人日本心理学会平成19年度7月常務理事会 議事録

日 時 平成19年7月16日（月）15時—18時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁柁算男，鈴木直人，
横田正夫各常務理事

（事務局長：久野洋子，事務局員：仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（6月23日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員移動

久野事務局長より，6月1日—6月30日までの会員異動状況について，新入会員23名，希望退会者3名，逝去者1名があり，6月30日現在の会員数（賛助会員を除く）は7,236名であるとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 編集委員会報告

繁柁編集担当常務理事（委員会委員長）より，7月14日に開催された編集委員会について報告がなされた。また，編集電子化ワーキング・グループ（以降WGとする）委員として，新たに3名を委嘱したことが報告された。また機関誌の著作権確認に関する報告があり，次回常務理事会にて審議をすることとした。

(2) 認定委員会報告

横田認定担当常務理事（委員会委員長）より，6月30日に開催された認定委員会について報告がなされた。

(3)優秀論文賞選考委員会報告

繁柵編集担当常務理事より、7月14日に開催された優秀論文賞選考委員会について報告がなされた。

(4)心理学ワールド編集委員会報告

岩崎理事長より、6月30日に開催された心理学ワールド編集委員会について報告がなされた。

3. その他

(1)職員採用について

久野事務局長より、嘱託職員1名の採用が内定したことが報告された。

(2)分室の準備状況と事務局PC導入について

久野事務局長より、分室の準備状況と事務局のPC導入について説明がなされた。

(3)日本心理学会公開シンポジウムについて

久野事務局長より、7月29日に社団法人日本心理学会公開シンポジウム“‘美’への挑戦——心理学から——”が開催されることが報告された。なお、今後引き続き年内に公開シンポジウムを行なうこととし、日野林常務理事が大坊郁夫大阪大学教授に企画の是非を問い合わせることになった。

(4)日本認定心理士会について

久野事務局長より、7月28日に日本認定心理士会理事会・評議員会と講演会が開催されることが報告された。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった19件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者16名の入会を一括承認し、残る3件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した2名を承認した。

2. 委員会人事の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件について説明があり、各委員会の人事を確認した。

3. 機関誌のデータベース化の件

繁柵編集担当常務理事より標記の件について説明があり、独立行政法人科学技術振興機構のアーカイヴ事業への参加を申し出ることを承認した。なお掲載方法等の詳細については、掲載が認可された後に審議することとした。

4. 認定心理士資格認定事業移譲の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件について説明があり、日本心理学諸学会連合（以下、日心連とする）と、認定心理士資格の裏書認定を具体的に実施する時期を決めるため、8月頃に日心連との交渉を行なうこととした。裏書認定の交渉にあたっては、日心連との合意事項の1つである認定心理士資格の“有効活用”について、具体的な内容を明らかにすることを求めるべきであるとの意見が出された。

なお、その後の日程調整の結果、8月8日13時より日心連との交渉をすることが決定した。本学会からの出席者は、岩崎理事長、鈴木総務担当常務理事、横田認定担当常務理事の予定。

5. 日本心理学諸学会連合の件

岩崎理事長より、日本心理学会からの日本心理学諸学会連合理事として、岩崎庸男理事長・鈴木直人総務担当常務理事・沢崎達夫理事の推薦があり、これを承認した。また日心連より、日本心理学会事務局の中に日心連事務局を設置したい旨の申し入れがあったことが報告され、諸条件について交渉することとした。

6. 倫理問題の件

鈴木総務担当常務理事より、今期の執行部で倫理問題について検討していくことが提案され、これを承認した。倫理規程の制定や、研究倫理、会員の倫理の問題については繁柵常務理事を委員長とする倫理委員会で検討し、倫理問題を取り扱うためのシステムの構築を、鈴木総務担当常務理事を中心として検討することとした。

7. 個人情報の取り扱いに関して

鈴木総務担当常務理事より、個人情報保護の問題に関して、選挙台帳が会員名簿になっていることから、今期の執行部で、選挙台帳の問題も含め会員名簿の作成について検討していく必要がある旨提案があり、これを承認した。

8. “心理学モノグラフ” 関連規程の件

繁柵編集担当常務理事より、“心理学モノグラフ” 第 31 号発行に伴う関連規程の改正について説明があり、規程改正の施行日を平成 19 年 4 月 1 日とすることとした。

9. 協賛・後援依頼の件

(1) 特定非営利活動法人モバイル学会（学会長・田村博）から願い出のあった“モバイル 08”（シンポジウム大会長・赤松幹之）への協賛依頼について審議し、これを承認した。

(2) “第 10 回国際行動医学会”（組織委員長・坂野雄二）より願い出のあった後援依頼について審議し、これを承認した。

社団法人日本心理学会 平成19年度8月常務理事会 議事録

日 時 平成19年8月7日（火）16時—18時15分

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁榘算男，鈴木直人，
横田正夫各常務理事

（事務局長：久野洋子，事務局員：仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（7月16日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員移動

久野事務局長より，7月1日—7月31日までの会員異動状況について，新入会員14名，希望退会者9名，逝去者1名があり，7月31日現在の会員数（賛助会員を除く）は7,240名であるとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 将来構想検討委員会報告

鈴木総務担当常務理事より，8月4日開催の将来構想検討委員会専門委員長会議について報告があった。

3. 理事長報告

岩崎理事長より下記のことが報告された。

(1) 公益法人制度改革について

公益法人制度改革の概要について報告があり，今期常務理事会で新制度施行に向けての対応を検討する方針であることが説明された。

(2)韓国心理学会からの学会招待について

韓国心理学会より，“2007 Annual Meeting of Korean Psychological Association”（2007年8月22日—24日）への招待状が届いたが、日程の都合がつかないため欠席することが報告された。

4. その他

(1)日本心理学諸学会連合について

鈴木総務担当常務理事より、8月8日に日本心理学諸学会連合との認定心理士資格認定事業移譲に関わる協議会が開催されることが報告された。

(2)日本心理学会公開シンポジウムについて

日野林常務理事より、次回の日本心理学会公開シンポジウムに関する報告がなされた。また2008年度の公開シンポジウムについて、9月の常務理事会で検討することとした。

(3)国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等の申請について

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づき2件の新たな申請があったことが報告された。また申請については、現在保留になっている1件と併せて計3件を国際委員会にて検討し、次回常務理事会に提案することが報告された。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった16件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者14名の入会を一括承認し、残る2件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した1名を承認した。

2. 機関誌の著作権確認の件

繁柘編集担当常務理事より、配布資料に基づき標記の件について説明がなされた。審議の結果、著作権確認に関わる文書の文言について、岩崎理事長・繁柘常務理事が確認を行い、次回常務理事会にて提案をすることとした。

3. 学会誌のデータベース化の件

繁榊編集担当常務理事より、配布資料に基づき標記の件について説明がなされた。審議の結果、“心理学研究”については2008年度にJ-STAGEへの申請を行なうこととした。また“Japanese Psychological Research”の扱いについては継続審議となった。

4. 各委員会人事の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件について説明があり、委員追加の必要がある委員会について確認した。追加となる委員の候補者については、次回以降の常務理事会にて、各委員会の担当常務理事より提案することとした。

5. 研究集会等助成の件

日野林研究集会等助成担当常務理事より、標記の件について説明があり、審議の結果、採否の決定を日野林常務理事に一任し、次回常務理事会で承認することとした。

6. 開示許諾依頼の件

(1)広島大学図書館より願い出のあった、下記論文の広島大学図書館学術情報リポジトリへの公開依頼について審議し、これを承認した。

Kurachi Akemi(1987). A cross-cultural analysis of teachers' and patients' perception of and attitudes toward conflict situations. *Japanese Psychological Research*, **29**, 131-138.

7. 倫理問題の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件について説明があり、常務理事会における倫理問題の取扱いについて審議した。次に繁榊倫理担当常務理事（委員会委員長）より、今後の委員会の検討計画について説明があり、テストスタンダードの策定などを進めていく方針を了承した。また倫理委員会委員の拡充をすることが提案され、これを承認した。

8. 会費支払い猶予の申し入れの件

米国でハリケーン、トルネードの被害にあった在米の会員から、前年度（18年度）会費の支払い猶予の申し入れがあり、審議の結果これを了承した。

社団法人日本心理学会平成19年度9月常務理事会 議事録

日 時 平成19年9月17日(月) 13時30分—16時

会 場 東京ドームホテル“初音”

出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁榊算男, 鈴木直人,
横田正夫各常務理事
(事務局長 久野洋子, 事務局員 仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)

議 長 岩崎庸男(理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会(8月7日開催)の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員移動

久野事務局長より, 8月1日—8月31日までの会員異動状況について, 新入会員18名, 希望退会者6名, 逝去者1名があり, 8月31日現在の会員数(賛助会員を除く)は7251名であるとの報告があった。

2. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁榊編集担当常務理事(委員会委員長)より, 9月1日開催の編集委員会について報告がなされた。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 8月18日開催の認定委員会について報告がなされた。

(3) 優秀論文賞選考委員会

繁榊編集担当常務理事より, 9月1日開催の優秀論文賞選考委員会について報告がなされた。

3. その他

(1)日本心理学諸学会連合について

鈴木総務担当常務理事より、8月8日に開催された日本心理学諸学会連合（以下、日心連）との認定心理士資格認定事業移譲をめぐる協議会について報告がなされた。懸案となっているいわゆる“裏書認定”は、12月に開催される日心連理事会で承認された後に実施されることとなった旨の説明があった。

(2)機関誌著作権について

繁柵編集担当常務理事より、機関誌著作権の確認に関する文書が提出され、内容を確認した。

(3)第70回大会九州大会論文集ウェブ公開について

小嶋情報化担当常務理事より、ホームページ等で実施していた日本心理学会第70回大会論文集のウェブ公開に関する公示について、特段の問合せはなかったことが報告された。そのため、日本心理学会会員および日本認定心理士会会員を対象とした論文集のウェブ公開を近々に行うという説明がなされた。

(4)国際心理科学連合（IUPsyS）の“Foundation Mattei Dogan Prize in Psychological Sciences”について

小嶋国際担当常務理事より、国際心理科学連合（IUPsyS）で新たに“Foundation Mattei Dogan Prize in Psychological Sciences”が設立されたことが報告された。これについて、日本心理学会からも受賞の候補者を推薦したい旨の提案があり、次回常務理事会において、国際委員会より原案が提出されることとなった。

Ⅲ. 審議事項

1. 学会誌のデータベース化の件

繁柵編集担当常務理事より、標記の件について説明がなされた。審議の結果、“Japanese Psychological Research”のデータベース化を“J-STAGE”へ委託することとした。

2. 各種委員会人事の件

編集委員会，認定委員会，心理学ワールド編集委員会について，一部委員の任期満了による追加の委員候補者が提案され，これを承認した。

3. 研究集会等助成の件

日野林研究集会等助成担当常務理事より，研究集会等助成規程に基づく第 1 回審査について説明がなされた。審議の結果，申請のあった 8 件を申請どおり承認することとした。なお，申請の様式等を修正する必要があるとの意見が出され，今後検討することとした。

4. 国際学会，国際会議参加者への旅費支給，補助等の申請の件

小嶋国際担当常務理事より，国際学会，国際会議参加者への旅費支給，補助等に関する内規に基づく 3 件の申請について説明がなされた。審議の結果，1 件を一部承認した。残る 2 件は保留とし，次回常務理事会で再審議することとした。

5. 公開シンポジウムの件（2007 年秋，2008 年度）

日野林常務理事より，次回の日本心理学会公開シンポジウムについて内容の説明があり，これを承認した。なお来年度の公開シンポジウムについて，次回以降の常務理事会で審議することとした。

6. 医療心理師国家資格制度推進協議会の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件について説明があり，医療心理師国家資格制度推進協議会への日本心理学会からの代表者を，岩崎理事長・鈴木常務理事が務めることとした。

7. 理事会次第の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件について説明があり，理事会の進行等について確認をした。

8. 日本心理学会第 71 回大会会員集会等の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件について説明があり，日本心理学会第 71 回大会における会員集会の進行等について確認した。

9. 転載依頼の件

(1)会員の小野浩一氏より願出のあった、ホームページへの下記“心理学ワールド”掲載原稿の転載依頼について審議し、これを承認した。

小野浩一（2005）．迷信はどうしてできるのですか？ 心理学ワールド, 28, 34.

(2)(株)リクルートマネジメントソリューションズより願出のあった，“心理学ワールド”掲載原稿の転載依頼について審議し、これを承認した。

社団法人日本心理学会 平成 20 年度 10 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 10 月 18 日（土）10 時—13 時
会 場 日本心理学会事務局
出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，
横田正夫各常務理事
（事務局 鈴木厚子，仮澤 亮）
議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会および理事会（9 月 18 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，9 月 1 日—9 月 30 日までの会員異動状況について，新入会員 7 名，退会者 1 名，

9 月 30 日現在の会員数（賛助会員を除く）7,388 名との報告があった。

(2) 文部科学省からの調査

事務局より，文部科学省から現況に関する調査があったことが報告された。

2. 委員会報告

(1) 認定委員会

横田認定担当常務理事（委員会委員長）より，8 月 23 日開催の認定委員会
および 9 月 19 日

開催のカリキュラム検討委員会について報告があった。

(2) 倫理委員会

繁榊倫理担当常務理事（委員会委員長）より，9 月 19 日開催の倫理委員会
について報告があ

った。

(3) 国際賞選考委員会

小嶋国際担当常務理事より，10 月 11 日に開催された国際賞選考委員会につ
いて報告があり，

2009 年度第 4 回国際賞の募集についての修正点について説明があった。

(4) 将来構想検討委員会

鈴木総務担当常務理事より，9 月 19 日に開催された将来構想検討委員会に
ついて報告があった。

3. その他

(1)編集委員会幹事・電子化WG 合同会議

繁榊編集担当常務理事より、編集委員会の幹事および電子化WG 委員合同会議の報告があった。

(2)会員宛てメール送信システムの件

業者と送信方法を詰めることとなったとの報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった13件のうち、正会員入会審査規程2(1)、(2)に該当する者11名の入会を一括承認し、残る2件について資料に基づき審査を行い、2(1)、2(4)に該当する各1名(計2名)を入会可とした。

2. 研究集会等助成審査の件

日野林研究集会等助成担当常務理事より、研究集会等助成規程に基づく申請5件(9月末日締切)について助成提案があり、全て承認された。

3. 国際賞選考細則改正の件

小嶋国際担当常務理事より、国際賞選考細則の改正について提案があり、承認された。

4. 国際委員会委員およびIUPsyS代表交替の件

小嶋国際担当常務理事より、国際委員会委員およびIUPsyS代表の交代について提案があり、承認された。

国際委員 住吉チカ、余語真夫、積山 薫、箱田裕司

IUPsyS代表 仲 真紀子

5. 国際会議旅費補助の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請1件について提案があり、減額の上、承認された。

6. 心理学研究アーカイブ化の件

繁榊編集担当常務理事より、科学技術振興機構(JST)における“心理学研究”の電子アーカイブ化についての報告があった。また、アーカイブ化は、刊行後すぐに行うこととなった。

7. 2011年度第75回大会開催校について

鈴木総務担当常務理事より、2011年度に行われる第75回大会の開催校について提案があり、継続審議となった。

8. 協賛・共催依頼

(1) Society for Applied Research on Memory and Cognition (SARMAC) 第8回大会準備委員

会（7月26日—29日，京都 平安会館，準備委員長 巖島行雄）より，同大会への協賛依頼があり，承認された。

(2) 日本学術会議から安全工学シンポジウム共催の依頼および委員推薦依頼 があり共催する

ことが承認された。また，委員としては昨年と同様，竹村和久氏を推薦することとした。

9. 転載許諾依頼

(1) 内田伸子氏より，Japanese Psychological Research 掲載論文を，お茶の水女子大学グロ

ーバル COE 英文モノグラフへ転載することについて依頼があり，承認された。

(2) 小樽商科大学附属図書館からの同大学小笠原春彦氏の機関誌掲載論文を 同大学のウェブサ

イトへの公開依頼があり認められた。

10. その他

(1) 公益法人制度改革について

日野林財務担当常務理事から“公益”社団法人申請の方向で前向きに検討することが提案され，承認された。スケジュールについての概要が示され，今後も検討することとなった。

(2) 韓国，中国心理学会との交流について

小嶋国際担当常務理事より，共同シンポジウム，相互の大会でのポスター発表の受け入れ，研究者の招聘・派遣補助等，日韓心理学会の交流について提案があり，承認された。なお，日本側の窓口を国際委員の箱田裕司氏，韓国側の窓口を李光五氏とすることも承認された。また，日韓のみではなく中国との交流(共同シンポジウム)についても提案があり，これも承認された。詳細は，継続審議となった。

(3) ICP2016 日本開催について

小嶋国際担当常務理事より，ICP2016 日本開催検討委員会の設置について提案があり，委員長を繁柘常務理事とすることが承認された。小嶋・繁柘両常務理事が委員を選任する。

(4) 功績賞の件

職能や社会貢献に関する顕彰を含むべきとの意見が出された。継続審議とする。

(5) 心理職の国資格について

心理職の国資格を早急に実現するため，2資格1法案にこだわらず，関係組織との協議を進めることとした。

以上

社団法人日本心理学会平成19年度11月 常務理事会議事録

日 時 平成19年11月10日(土) 14時—17時
会 場 ホテル機山館会議室
出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 小嶋祥三, 繁榎算男, 鈴木直人,
横田正夫各常務理事
(事務局長 久野洋子, 事務局員 仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)
議 長 岩崎庸男(理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会(10月13日開催)の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

岩崎理事長より, 下記のことが報告された。

(1)医療心理師国家資格制度に関するアンケートについて

医療心理師国家資格制度推進協議会より, アンケートが送られてきたことが報告された。回答については, 次回以降の常務理事会で審議することとした。

(2)日本心理学諸学会連合常任理事会報告

11月4日開催の日本心理学諸学会連合の常任理事会について報告がなされた。

(3)公益法人制度改革説明会について

11月26日に開催される文部科学省の公益法人制度改革説明会について, 岩崎理事長が出席することが報告された。

2. 事務報告

(1)会員移動

久野事務局長より, 10月1日—10月31日までの会員異動状況について, 新入会員25名, 希望退会者1名, 逝去者2名があり, 10月31日現在の会員数(賛助会員を除く)は7287名であるとの報告があった。

3. 委員会報告

(1)編集委員会

繁榎編集担当常務理事(委員会委員長)より, 10月27日開催の編集委員会について報告がなされた。また“J 著作権の帰属に関するお願いを, ホームページ(以下, HPとする)および“心理学研究”会報に掲載することを了承した。

(2)認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 10月20日開催の認定委員会について報告がなされた。

(3)倫理委員会

繁榎倫理担当常務理事(委員会委員長)より, 11月10日開催の倫理委員会について報告がなされた。

4. その他

(1)第3回国際賞募集の開始について

小嶋国際賞選考担当常務理事より, 第3回国際賞募集の告知をHPに掲載し機関誌送付時に文書を同封したことが報告された。

(2)国際心理科学連合(IUPsyS)役員推薦依頼について

小嶋国際担当常務理事より, 国際心理科学連合(IUPsyS)の理事長, 副理事長, 理事, 顧問の推薦依頼があったことが報告され, 候補者の推薦があれば国際委員会まで申し出ることとした。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 22 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 19 名の入会を一括承認し、残る 3 件について資料に基づき個別審査を行い、2(3)に該当すると判断した 1 名、2(4)に該当すると判断した 1 名を入会可とし、1 名を否とした。

2. 認定委員会委員委嘱の件

横田認定担当常務理事（委員会委員長）より、以下の認定委員候補者に委員委嘱の内諾がとれたとの報告があり、新委員を承認した。

会沢信彦、中條和光、福田幸男、針塚 進、畑山俊輝、日比野治雄、市原 信、井村 修、稲田尚史、石川利江、石垣 磨、板垣文彦、米谷 淳、増田公男、松井三枝、望月 聡、邑本俊亮、室井みや、中村 浩、中村信次、岡 隆、大森美香、太田裕彦、太田信夫、沢宮容子、杉山尚子、富田 新、戸澤純子、余語真夫、横山詔一、吉野俊彦各氏

3. 2008 年度公開シンポジウムの件

横田常務理事より、2008 年度の公開シンポジウムの企画案について説明があり、これを承認した。また、本企画案に基づき作成された、文部科学省の平成 20 年度科学研究費補助金の申請書類について審議し、承認した。

4. 海外の心理学関係学会員のポスター発表の件

小嶋国際担当常務理事より、海外の心理学関係学会の会員が日本心理学会大会で責任発表者としてポスター発表を行なうことができるようにする旨の提案がなされた。審議の結果これを承認し、発表者の大会参加費や発表人数については、大会事務局に一任することとした。

5. 第 74 回大会（2010 年度）主催校の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件につき説明があり、2010 年度の第 74 回大会の主催校について審議した。

6. 転載依頼の件（資料席上回覧）

(1)お茶の水女子大学より願い出のあった、お茶の水女子大学の機関リポジトリ“TeaPot”への以下“Japanese Psychological Research”掲載論文の転載依頼について審議し、これを承認した。

Ikeda, M., & Ishiguchi, A.(2006). Effects of surface pre-presentation on symmetry detection on a 3-D bumpy surface. Japanese Psychological Research, 48, 65-76.

(2)小樽商科大学より願い出のあった、小樽商科大学のウェブサイトへの以下の“心理学研究”掲載論文の転載依頼について審議し、これを承認した。

佐山公一・阿部純一（1994）. 日本語同語反復文の意味解釈——反復語および文脈の関わり—— 心理学研究, 65, 25-33.

7. その他

(1)個人情報の取扱いについて

鈴木総務担当常務理事より会員の個人情報と会員名簿の取扱いについて説明があり、継続審議となった。

(2)認定心理士会の運営について

鈴木総務担当常務理事より、日本認定心理士会の事務運営を業者に委託する旨の提案があり、継続審議となった。

(3)次回理事会の日程について

鈴木総務担当常務理事より、日本心理学会の会議開催スケジュールについて説明があり、次回理事会を 2008 年 3 月 15 日(土)に開催することとした。

社団法人日本心理学会 平成 19 年度 12 月常務理事会 議事録

日 時 平成 19 年 12 月 8 日（土）16 時—19 時

会 場 東京會館会議室

出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，
横田正夫各常務理事
（事務局長 久野洋子，事務局員 仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（11 月 10 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

岩崎理事長より，下記のことが報告された。

(1)公益法人制度改革説明会について

11 月 26 日に開催された，文部科学省による公益法人制度改革に関する説明会について報告がなされた。公益法人制度改革関連三法は，2008 年 12 月 1 日より施行され，5 年間の移行措置期間が設けられる。この間，三法に基づく公益法人の認定が行なわれるため，今後対応等について検討していくこととした。

(2)日本心理学諸学会連合報告

日本心理学諸学会連合の理事会が 12 月 22 日に開催されることが報告された。

2. 事務報告

(1)会員移動

久野事務局長より，11 月 1 日—11 月 30 日までの会員異動状況について，新入会員 16 名，希望退会者 3 名，逝去者 2 名があり，11 月 30 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7298 名であるとの報告があった。

3. その他

(1)公開シンポジウムについて

鈴木総務担当常務理事より、12月2日に開催された公開シンポジウムについて報告がなされた。

(2)編集委員会の体制について

繁樹編集担当常務理事（委員会委員長）より、編集委員会の体制について、副委員長の他に幹事をおくことが報告された。編集内規を整備し、異議申し立ての取扱いについても再検討する旨の説明があった。

(3)第72回大会の参加と発表について

Ⅲ. 審議事項 小嶋国際担当常務理事より、第72回大会において海外の心理学関係学会員のポスター発表を認める件について、大会準備委員会と韓国心理学会との間で検討を進めている旨の報告があった。また大会参加費について、大学院生の割引を行なうとの報告があった。

1. 入会審査

新規申請のあった16件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者14名の入会を一括承認し、残る2件について資料に基づき個別審査を行い、2(1)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した1名を入会可とした。

2. 医療心理師国家資格制度に関するアンケートの件

鈴木総務担当常務理事より、医療心理師国家資格制度推進協議会からの医療心理師国家資格制度に関するアンケートについて説明がなされた。審議の結果、岩崎理事長に回答を一任することとした。

3. 第74回大会（2010年度）主催校の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件について説明があり、審議の結果、2010年度の第74回大会の主催校を大阪大学に依頼することとした。

4. 国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等の申請の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請1件について説明があり、審議の結果、一部支給することを承認した。

5. “職場のメンタルヘルス関連学会連絡会議”参加依頼の件

鈴木総務担当常務理事より、“職場のメンタルヘルス関連学会連絡会議”から同会議への参加依頼があった旨の説明があり、継続審議となった。

6. 個人情報の取扱いの件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件につき説明があり、会員の個人情報と会員名簿の取扱いについて審議がなされた。

7. 日本認定心理士会の運営の件

鈴木総務担当常務理事より、日本認定心理士会の運営を業者へ委託する件について説明がなされた。審議の結果、日本心理学会、日本認定心理士会、業者との間で業務の委託に関する交渉を行なうこととした。

社団法人日本心理学会平成19年度1月常務理事会議事録

日 時 平成20年1月19日(土) 15時—18時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 岩崎庸男理事長, 日野林俊彦, 繁榊算男, 鈴木直人,

横田正夫各常務理事

(事務局長 久野洋子, 事務局員 仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)

議 長 岩崎庸男(理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会(12月8日開催)の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

岩崎理事長より, 下記のことが報告された。

(1)医療心理師国家資格制度に関するアンケート(回答)について

医療心理師国家資格制度推進協議会より送られたアンケートについて, 回答を行なったことが報告された。

(2)日本心理学諸学会連合報告

12月22日に開催された日本心理学諸学会連合(以下, 日心連)の理事会において, 認定心理士資格を日心連の基礎資格として承認する件に関して, 日心連の常任理事会に一任されたことが報告された。今後本件に関わる諸問題について, 日本心理学会の常務理事会と, 日心連の常任理事会とで協議を進めることとなる。

なお, 認定心理士を対象とする倫理規程を作る必要がある旨の意見が出され, 繁榊倫理担当常務理事に委任された。

2. 事務報告

(1) 会員異動

久野事務局長より、12月1日—12月31日までの会員異動状況について、新入会員12名、希望退会者6名、逝去者4名があり、12月31日現在の会員数（賛助会員を除く）は7,300名であるとの報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁柁編集担当常務理事より、1月12日開催の編集委員会について報告がなされた。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事より、12月15日開催の認定委員会について報告がなされた。

(3) 心理学ワールド編集委員会

岩崎理事長より、“心理学ワールド”41号および42号の企画案について報告がなされた。

(4) 将来構想検討委員会

鈴木総務担当常務理事より、12月26日開催の将来構想検討委員会専門委員長会議の報告がなされた。

4. その他

(1) “エコトピア科学に関する国際会議 2007 (ISETS07)” からの開催報告について

鈴木総務担当常務理事より、日本心理学会が協賛をしている“エコトピア科学に関する国際会議 2007 (ISETS07)” より開催報告が送られてきたことが報告された。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった36件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者36名の入会を一括承認した。

2. 第72回大会シンポジウムの件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件について説明があり、第72回大会で開催されるシンポジウムのうち、常務理事会が関わるものについて確認をした。

3. 研究集会等助成規程改正の件

日野林常務理事より、研究集会等助成規程の改正案について説明があり、継続審議となった。

4. 協賛依頼の件

(1) “∞のこどもたち”展実行委員会から願い出のあった同展への協賛依頼について審議し、これを承認した。

5. 転載許諾依頼の件

(1)北海道大学から願い出のあった“HUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）”への同大学所属研究者の日本心理学会機関誌掲載論文の転載許諾依頼について審議し、これを承認した。

(2)株式会社金子書房から願い出のあった“自己心理学 6 社会心理学へのアプローチ”への以下“心理学研究”掲載論文の転載許諾依頼について審議し、これを承認した。

高田利武（2001）. 自己認識手段と文化的自己観——横断的資料による発達の検討——心理学研究, 72, 378-386.

6. その他

(1)理事会の議題について

鈴木総務担当常務理事より、第3回理事会の議題について説明があり、次回常務理事会にて審議することとした。

(2)認定心理士会の運営について

鈴木総務担当常務理事より、日本認定心理士会の事務局を移転することについて説明がなされた。審議の結果、日本心理学会では事務局移転に異存はなく、日本認定心理士会での移転に関する正式な決定を待つこととした。

(3)2008年度事業計画について

鈴木総務担当常務理事より、来年度の事業計画について、各部署で計画している新規事業があれば提案するように要求があった。

社団法人日本心理学会 平成 19 年度 2 月常務理事会議事録

日 時 平成 20 年 2 月 11 日（月）15 時—18 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，

横田正夫各常務理事

（事務局長 久野洋子，事務局員 仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（1 月 19 日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

岩崎理事長より，下記のことが報告された。

(1) 日本心理学諸学会連合報告

1 月 24 日(日)に，日本心理学諸学会連合（以下，日心連）常任理事会が開催されたことが報告された。同会議では，日心連の基礎資格として認定心理士資格を承認する件について審議があり，過去の認定心理士資格取得者への承認の遡及に関する意見が出された。このことについて日本心理学会では，過去の取得者に対する承認の遡及は無償でなされるという条件で決定されていると理解していることを確認した。また，手続きは 2008 年 4 月の認定者から実施することを日心連に提案することとした。以上の件については今後，必要があれば日心連と協議会を開催することとした。

2. 事務報告

(1) 会員移動

久野事務局長より，1 月 1 日—1 月 31 日までの会員異動状況について，新入会員 48 名，希望退会者 13 名，逝去者 4 名があり，1 月 31 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7,331 名であるとの報告があった。

3. 委員会報告

(1)認定委員会

横田認定担当常務理事より、2月2日開催の認定委員会について報告がなされた。

(2)倫理委員会

繁桝倫理担当常務理事より、1月27日開催の倫理委員会について報告がなされた。

(3)総務・財務委員会

鈴木総務担当常務理事より、2月11日開催の総務・財務委員会について報告がなされた。

4. その他

(1)第3回国際賞について

小嶋国際賞選考担当常務理事より、第3回国際賞の応募者について報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった183件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者180名の入会を一括承認し、残る3件について資料に基づき個別審査を行い、2(3)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した1名を入会可とし、1名を否とした。

2. 平成20年度収支予算書承認の件

鈴木総務担当常務理事より、配布資料に基づき平成20年度収支予算書の説明があり、これを承認した。

3. 平成20年度事業計画書承認の件

鈴木総務担当常務理事より、配布資料に基づき平成20年度の事業計画書について説明があり、これを承認した。なお事業計画のうち、複数回の開催を予定している公開シンポジウムについて、理事に開催の依頼とテーマの募集を働きかけるとよいのではないかとの意見が出された。

4. 研究集会等助成規程改正の件

日野林常務理事より、配布資料に基づき研究集会等助成規程の改正案について説明があり、一部修正の上、これを承認した。

5. 終身会員承認の件

久野事務局長より、配布資料に基づき 9 名の終身会員候補者について説明がなされた。審議の結果、定款第 5 条 (5) に基づき 9 名を終身会員候補者として承認することとした。

6. 理事会議題の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件につき説明があり、理事会の議題について確認をした。

7. 国際会議等参加旅費補助金申請の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請 1 件について説明があり、審議の結果、これを一部承認した。

8. 認定委員会副委員長委嘱の件

横田認定担当常務理事より、認定委員会に副委員長職を設け、委員の平田乃美氏、横山詔一氏に委嘱したい旨の提案があり、これを承認した。なお、認定委員会規程には副委員長職に関する条文はないが、新たに規程の改正は行わず、随時必要に応じて委嘱をすることとした。

9. 会員等の個人情報の取扱いについて

鈴木総務担当常務理事より、他学会より日本心理学会の名簿情報を提供してほしい旨の依頼があったことが説明された。審議の結果、個人情報保護の観点から、会員の情報は外部に公開しない方針であることを確認し、今回の依頼は棄却することとした。

社団法人日本心理学会平成19年度3月常務理事会議事録

日 時 平成20年3月15日（月）11時—14時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 岩崎庸男理事長，日野林俊彦，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，
横田正夫各常務理事

（事務局長 久野洋子，事務局員 仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（2月11日開催）の議事録を承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

岩崎理事長より，下記の報告あった。

(1)日本心理学諸学会連合報告

2月24日に，日本心理学諸学会連合（以下，日心連）の常任理事会が開催されたことが報告された。認定心理士資格を日心連の基礎資格として承認する件につき，4月の認定委員会で認定されたものからその旨の通知を行うこと，通知は別紙を添付する形式で行うことが承認された。なお，通知文書の作成は，横田認定担当常務理事が行い，日心連の確認を取ることにした。また，認定心理士資格の既取得者から依頼があった場合には，無償で送付することとした。

(2)医療心理師国家資格制度推進協議会について

心理職の国家資格化について，医療心理師国家資格制度推進協議会と臨床心理職国家資格推進協議会の間で，二資格一法案に関する話し合いの予定があることが報告された。国資格問題について，心理学ワールドの見解を統一する必要がある旨の意見が出された。

2. 事務報告

(1) 会員移動

久野事務局長より、2月1日—2月29日までの会員異動状況について報告があった。新入会員135名、希望退会者35名、定款第10条(3)による退会処分者116名、逝去者1名、2月29日現在の会員数（賛助会員を除く）は7313名である。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁柁編集担当常務理事より、3月1日開催の編集委員会について報告があった。

(2) 国際賞選考委員会

小嶋国際関係担当常務理事より、3月8日開催の国際賞選考委員会について報告があった。

(3) 将来構想検討委員会

事務局より、2月27日開催の将来構想検討委員会の全体会議について報告があった。

4. その他

(1) 認定心理士資格申請の手引きについて

横田認定担当常務理事より、“認定心理士資格申請の手引き”第4版が発行されたとの報告があった。また、同書類の日本心理学会ホームページからの無料ダウンロードが開始されたとの説明があった。

(2) ICP2008 招待講演・シンポジウムへの旅費支給について

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づき、第29回国際心理学会議へ国際心理科学連合の理事、日本心理学会からの delegate、日本心理学会から推薦された講演・シンポジウムの講演者等に対して、旅費の補助を行うことが報告された。また、同会議への出席予定者で日本心理学会から推薦した講演・シンポジウムが、不採択となった場合は、何らかの補助を行いたい旨の提案がなされ、次回常務理事会で審議することとした。

(3)日心連からの“心理学検定”広報の依頼、およびシンポジウム等後援申込依頼について

岩崎理事長より、日心連より“心理学検定”に関する広告掲載、チラシ等配布の依頼があったことが報告された。また、日心連構成学会でシンポジウム等を行う際に、日心連の後援としてほしい旨の依頼があったことが報告された。

(4) 第72回大会での韓国心理学会主催シンポジウムについて

小嶋国際担当常務理事より、第72回大会において、韓国心理学会の主催によるシンポジウムが行われることが報告された。なお、同シンポジウムにて岩崎理事長の挨拶をしてほしい旨の依頼があり、これを了承した。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった53件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者49名の入会を一括承認し、残る4件について資料に基づき個別審査を行い、2(2)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した3名を入会可とした。なお、“正会員入会審査規程”を改定する必要があるとの意見が出された。今後、常務理事会で検討することとした。

2. 理事会の議題確認の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件につき説明があり、理事会の議題について確認した。

3. 論文掲載時請求費用の件

繁榊編集担当常務理事より、配布資料に基づき標記の件につき説明があり、これを承認した。なお、請求については、ケースによって弾力的に運用することとした。また本件については、2007年度第3回理事会にて報告することとした。

4. 委員会委員交代の件（優秀論文賞選考委員会、将来構想検討委員会）

繁榊編集担当常務理事および鈴木総務担当常務理事より、以下の委員会の新委員候補者について提案があり、これを承認した。

優秀論文賞選考委員会

大六一志，山田 寛，村田光二，横田正夫

将来構想検討委員会

太田信夫

5. 第72回大会シンポジウム非会員話題提供者等の参加費・旅費等の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件につき説明があり、第72回大会における日本心理学会主催のシンポジウムについて、非会員の話題提供者等はないことを確認した。なお、今後、非会員の話題提供者等があった場合には、大会参加費、旅費等は日本心理学会から支給することとした。

6. 公開シンポジウムの追加開催の件

鈴木総務担当常務理事より、2008年度公開シンポジウムの開催について説明がなされた。現在、2008年10月26日に“老いを健やかに生きる——高齢社会における心理学の役割——”（企画者：長嶋紀一）を予定しているが、事業計画書に基づき、この他に複数回シンポジウムを開催する必要があるため、理事より開催テーマを募ることとした。

7. 日本認定心理士会への協力金の件

鈴木総務担当常務理事より標記の件につき説明があり、日本認定心理士会より、同会事務局の移転に伴い、同会への協力金額増額の依頼があったとの報告があった。審議の結果、2008年度は予定通りの協力金を支給することとした。なお、認定心理士の倫理綱領を制定する必要があるとの意見があった。

8. 日本心理学会功績賞の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件につき説明がなされた。審議の結果、鈴木常務理事が同賞の原案を作成することとした。

9. 認定心理士研修会依頼の件

横田認定担当常務理事より、認定委員の邑本俊亮氏から東北心理学会第62回大会にて開催される下記後援を、認定心理士対象の研修会としたい旨の依頼があり、これを承認した。

東北心理学会第62回大会特別講演

日 時 平成20年7月19日（土）15:15～16:45（予定）

場 所 東北大学川内北キャンパスマルチメディア教育研究棟2階ホール

講演題目 腸からみた心（仮題）

講演者 福土審（東北大学医学系研究科・医学部・教授）

10. “職場のメンタルヘルス関連学会連絡会議”参加依頼の件

鈴木総務担当常務理事より、標記の件につき説明がなされた。審議の結果、横田常務理事が代表者として参加することとなった。

11. 転載許諾依頼の件

(1)日本心理学会会員の松田文子氏より，“心理学研究”掲載の下記論文より，
図表数値を別論文に転載したい旨の依頼があり，これを承認した。

谷村 亮・松田文子 (2000). 二つの動体の走行時間の比較判断に用いる知識
心理学研究, **71**, 128-135.

12. 年度会費請求時期の確認について

鈴木総務担当常務理事より，日本心理学会会員から年度会費請求時期に関する確認の問い合わせがあった旨の説明がなされた。本件については，社団法人日本心理学会細則第 2 条により，前年度末までに会費を納入すると定められていることを確認した。